



## メッセージ通知の設定

この章では、Cisco Unity Express のメッセージ通知機能を実装するための方法について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- 「メッセージ通知の概要」 (P.215)
- 「メッセージ通知の設定」 (P.216)
- 「メッセージ通知の送信と受信」 (P.222)
- 「システム全体の設定」 (P.224)
- 「ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化」 (P.227)
- 「デバイスに対するメッセージ通知の設定」 (P.227)
- 「カスケードメッセージ通知」 (P.242)

この機能を GUI から設定するには、[Voice Mail] > [Message Notification] オプションを使用します。

## メッセージ通知の概要

Cisco Unity Express バージョン 3.1 から、ボイスメールボックスに新しいメッセージがあることをユーザに通知するための、いくつかのオプションが用意されています。

ユーザのメールボックスにメッセージが届くと、システムは Non Delivery Receipt (NDR) を含む、すべてのタイプのメッセージに対して通知を生成します。Delayed Delivery Receipt (DDR)、ブロードキャストメッセージ、ライブレコードメッセージ、および新規のマークの付いた既存のメッセージでは通知が生成されません。

システムは、新しいボイスメールメッセージがユーザのメールボックスに届いたときに通知を生成します。このような通知は、次のデバイスに送信できます。

- 携帯電話
- 自宅の電話
- 職場の電話
- 数字用ポケットベル
- 文字対応デバイス
- 電子メールの受信ボックス

各デバイスでは、通知を受信可能なスケジュールを設定できます。電話機（職場の電話、自宅の電話、携帯電話）では、ユーザが通知を無効にしたり、通知通話時にメールボックスにログインしたりすることができます。

通知設定には、各ユーザまたはグループに対するコンフィギュレーション設定が含まれています。通知設定の詳細については、「[通知プロファイル](#)」(P.216)を参照してください。

メッセージ通知機能を設定するには、システム全体のパラメータをいくつか設定する必要があります。このようなパラメータの設定手順については、「[システム全体でのメッセージ通知の設定](#)」(P.217)を参照してください。

メッセージ通知の送信方法と受信方法は、デバイスタイプによって異なります。その方法については、「[メッセージ通知の送信と受信](#)」(P.222)を参照してください。

システム全体のパラメータの設定後は、メッセージ通知機能にアクセス可能なユーザとグループのパラメータを設定します。その手順については、「[デバイスに対するメッセージ通知の設定](#)」(P.227)を参照してください。

## 通知プロファイル

Cisco Unity Express には、ボイスメールボックスを持つ各ユーザおよびグループに対するデフォルトの通知プロファイルが用意されています。この通知プロファイルには、デバイスタイプ、電話番号または電子メールアドレス、通知設定、通知スケジュールなど、メッセージ通知の設定情報が含まれています。各ユーザまたはグループは、通知プロファイルで構成された1つ以上のサポート済みデバイスを持つことができます。プロファイル情報を設定すると、ユーザまたはグループはメッセージ通知を受け取るようになります。

デフォルトのプロファイル名は **vm-notif-profile** です。この名前は変更または削除できません。

## メッセージ通知の設定

メッセージ通知を設定するには、次の手順を実行する必要があります。

- システム全体の設定
  - システム全体の通知設定の概要については、後述の「[システム全体でのメッセージ通知の設定](#)」を参照してください。
  - システム全体の通知設定の設定手順については、「[システム全体の設定](#)」(P.224)を参照してください。
- ユーザおよびデバイス固有の設定
  - ユーザおよびデバイス固有の設定の概要については、「[ユーザおよびデバイス固有の設定](#)」(P.219)を参照してください。
  - ユーザおよびデバイス固有の設定の設定手順については、「[ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化](#)」(P.227)および「[デバイスに対するメッセージ通知の設定](#)」(P.227)を参照してください。

## システム全体でのメッセージ通知の設定

システム全体のメッセージ通知では、次の設定を使用します。

- 機能の有効化：メッセージ通知は、すべてのユーザおよびグループに対してデフォルトで無効になっています。機能の有効化は、システム全体、または特定のユーザまたはグループに対して行います。この機能は、メールボックスを持つすべてのユーザまたはグループで使用できます。

管理者がこの機能をシステム全体で初めて有効にした時点では、この機能はまだすべてのユーザおよびグループに対して無効になっています。特定のユーザまたはグループがメッセージ通知にアクセス可能な場合、管理者はそのユーザまたはグループに対してこの機能を個別に有効にできます。

機能をシステム全体で無効にすると、すべてのユーザおよびグループに対してこの機能が無効になります。ただし、システムはユーザおよびグループに対するデバイス設定を削除しません。機能が再び有効にされると、システムはユーザおよびグループに対する設定を、システム全体で無効にされる前の状態に復元します。

機能がシステム全体で有効な場合に、管理者が新しいユーザまたはグループを追加すると、そのユーザまたはグループに対してこの機能は無効になります。

この機能をシステム全体で有効にしたときに SMTP サーバが設定されていない場合、システムは電子メールおよび文字対応デバイスでの通知が機能しないことを示す、警告メッセージを生成します。

- 通知設定：管理者は、通知が送信されるメッセージのタイプ（すべてのメッセージまたは緊急メッセージ）を設定できます。デフォルトは緊急メッセージです。管理者は、特定のユーザまたはグループの設定を、システム全体の設定とは異なる値に変更できます。

システム全体の設定が「すべて」に設定されている場合、管理者は特定のユーザまたはグループの設定を「すべて」と「緊急」のどちらにも設定できます。システム全体の設定が「緊急」に設定されている場合、特定のユーザまたはグループの設定は「緊急」だけになります。

管理者がシステム全体の設定を「すべて」から「緊急」に変更すると、システムはすべてのユーザまたはグループに対する設定を「緊急」に変更します。

管理者がシステム全体の設定を「緊急」から「すべて」に変更した場合、システムは個別に設定されたユーザまたはグループの設定を変更しません。

- ボイス メッセージの添付：この設定では、電子メールの受信ボックスに送信される通知にボイスメッセージを添付することが許可されます。通知の添付はデフォルトで無効にされ、ボイスメッセージが通知電子メールに添付されません。管理者は、特定のユーザまたはグループの設定を、システム全体の設定とは異なる値に変更できます。

添付がシステム全体で有効になっている場合は、特定のユーザまたはグループの設定を有効または無効に変更できます。添付がシステム全体で無効になっている場合は、特定のユーザまたはグループの添付設定も無効になります。

この設定に関係なく、システムがプライベート メッセージを通知電子メールに添付することはありません。

管理者がこのシステム全体の設定を有効から無効に変更すると、システムはすべてのユーザまたはグループに対する設定を無効に変更します。

管理者がこのシステム全体の設定を無効から有効に変更した場合、システムは個別に設定されたユーザまたはグループの設定を変更しません。

- 接続タイムアウト：この変数は、システムが通話を切断し、通話失敗として処理するまでの、通知通話の接続を試行する秒数を指定します。このオプションを使用できるのは、電話機および数字用ポケットベルに対してだけです。値の範囲は 12 ~ 96 秒です。デフォルト値は 48 秒です。

- 発信中のボイスメールへのログイン：この変数は、通知通話に応答するときに、ボイスメールにログインすることをユーザに許可します。このオプションを使用できるのは、電話機だけです。  
このオプションが有効な場合、システムはボイスメールにログインしてメッセージを取得するオプションをユーザに提供します。このオプションが無効な場合、システムは通知通話の切断前に通知プロンプトを 3 回実行します。システム デフォルトでは無効になっています。
- 通知メッセージのプレフィックス テキスト：管理者はこの設定を使用して、通知の前にシステム全体のメッセージを付加できます。このオプションは、Cisco Unity Express 8.0 以降のバージョンで使用可能です。
- 通知メッセージのサフィックス テキスト：管理者はこの設定を使用して、通知の後にシグニチャメッセージを付加できます。このオプションは、Cisco Unity Express 8.0 以降のバージョンで使用可能です。
- 規制テーブル：規制テーブルは、ユーザがメッセージ通知の送信に使用可能な電話番号を制御します。この制限を使用できるのは、電話機および数字用ポケットベルだけです。

システムには事前定義済みのテーブルが用意され、管理者はそれを修正できます。このテーブルは、システム上のすべてのユーザおよびグループに適用されます。このテーブルの一般的な用途は、メッセージ通知での長距離番号および国際電話番号の使用防止です。

ユーザが電話機（携帯電話、自宅の電話、職場の電話など）および数字用ポケットベルに電話番号を割り当てたとき、および発信を行う前に、システムは規制テーブルをチェックします。電話番号がテーブルに制限対象としてリストされている場合、システムはユーザにメッセージを送信します。

ユーザがデバイスに設定済みの番号があり、後から管理者がその番号をシステム全体で制限した場合、その番号に通知通話が行われなくなります。管理者は、ユーザごとにその番号を削除する必要があります。

Cisco Unity Express には、次の 2 つの条件を定義したデフォルトの規制テーブルが用意されています。

- 電話番号で許可される、アクセス コードを含めた最小桁数と最大桁数。最小は 1 桁、最大は 30 桁です。デフォルトは 1 桁です。
- 制限された番号を表す、最大 10 文字のダイヤル スtring。各 String は、ダイヤル パターン、およびそのパターンと一致する電話番号を制限するかどうかを指定する設定で構成されます。

有効なパターンには、0 ~ 9 の数字、アスタリスク (\*)、およびドット (.) を使用できます。  
\* は 0 個以上の桁との一致を示します。ドットは、1 桁分のプレースホルダになります。

有効な設定値は allowed または disallowed です。

ユーザがデバイスに割り当てる電話番号を設定または変更しようとする時、システムはその番号の桁数が許可されているかどうかを検証します。許可されていない場合、ユーザはシステムメッセージを受け取ります。

桁数が許容範囲の場合、システムはその番号を規制テーブル内の最初のパターン（設定 1）から順に、ダイヤルパターンと照合します。その番号が最初のパターンと一致しない場合、システムはテーブル内の次のパターン（設定 2）と照合し、一致するものが見つかるまで繰り返します。システムはダイヤル String の指定に従って、通話を許可または制限します。

デフォルトの規制テーブルでは、表 11 に示すようにすべての電話番号の使用が許可されています。

表 11 デフォルトの規制テーブル

設定	ダイヤル パターン	許可
1	*	はい

このパターンは、設定および許可だけを変更できます。

規制テーブルには、同じダイヤルパターンと許可設定を持つ同一のダイヤルストリングを含めることができます。これには、デフォルトパターンが含まれます。テーブルに「1 つ以上」のデフォルトパターンが含まれている場合は、これらのダイヤルストリングのいずれかを削除できます。

表 12 に、国際電話番号と制限番号のある規制テーブルを示します。

表 12 国際電話番号のある規制テーブル

設定	ダイヤルパターン	許可
1	9011*	いいえ
2	91.....	いいえ
3	*	はい

表 13 に、ある市外局番で 1 つの番号を許可し、その市外局番の他のすべての番号を制限する規制テーブルを示します。

表 13 制限された市外局番のある規制テーブル

設定	ダイヤルパターン	許可
1	9011*	いいえ
2	912225550150	はい
3	91222.....	いいえ
4	*	はい

- SMTP サーバの設定：ユーザの電子メールへの通知の送信、または文字対応デバイスへのテキストメッセージの送信には、SMTP サーバが必要です。Cisco Unity Express がテキスト通知の送信に使用する外部 SMTP サーバを、管理者が設定する必要があります。SMTP サーバのアドレスは、ホスト名と IP アドレスのどちらでもかまいません。ホスト名を使用するには、DNS サーバが設定されていることを確認してください。

SMTP サーバで認証にユーザ ID とパスワードが必要な場合は、管理者が Cisco Unity Express ソフトウェア上でユーザ ID とパスワードを設定する必要があります。

- 発信電子メールの発信元アドレス：Cisco Unity Express から送信される電子メールおよび通知には、差出人フィールドにアドレス *hostname@domain* が表示されます。ここで、*hostname* は Cisco Unity Express 用に設定されたホスト名、*domain* は Cisco Unity Express 用に設定されたドメイン名です。管理者は、よりわかりやすい電子メールアドレスをこのフィールドで使用するように設定することができます。最大長は 128 文字です。

## ユーザおよびデバイス固有の設定

ユーザは、Telephone User Interface (TUI; 電話ユーザインターフェイス)、グラフィカルユーザインターフェイス (GUI)、または VoiceView Express を使用して、メッセージ通知の送信先となる電話機および数字用ポケットベルを指定できます。ユーザが、通知を受信する電子メールの受信ボックスまたは文字対応デバイスの設定に使用できるのは、GUI または VoiceView Express だけです。

管理者は、この項で説明する GUI、VoiceView Express、または CLI の手順を使用して、通知の受信用に任意のサポート済みデバイスを設定できます。

メッセージ通知の設定には、次の設定を使用できます。

- 電話番号：メールボックスに新しいメッセージを受信すると、システムはこの番号にダイヤルします。番号には数字の 0 ～ 9 だけを使用し、その他の文字や休止は使用できません。電話番号には、アクセスコードを含められます。

電子メールの受信ボックスと文字対応デバイスに対しては、この設定を使用できません。

電話番号が削除されると、そのデバイスが無効になります。

管理者は、どの電話番号をメッセージ通知用に許可するかを制御する、規制テーブルを設定します。規制テーブルの詳細については、「システム全体でのメッセージ通知の設定」(P.217) を参照してください。
- 追加の番号：電話番号にダイヤル後に発信通話に応答があると、システムはこの番号をダイヤルします。この番号は、Cisco Unity Express から通話先デバイスに対する DTMF 番号として扱われます。

この番号のダイヤル結果は、通話先デバイスによって異なります。たとえば、数字用ポケットベルにはこの番号が表示されます。

追加の番号には、数字 0 ～ 9、ポンド記号またはハッシュ記号 (#)、アスタリスク (\*)、およびプラス記号 (+) を使用できます。プラス記号は、1 秒間の休止の挿入に使用されます。追加の番号の最大長は 64 文字です。

電子メールの受信ボックスまたは文字対応デバイスに対しては、この設定を使用できません。
- 宛先：この設定は、メッセージ通知を受信する電子メールアドレスです。電子メールアドレスの最大長は 129 文字です。

この設定は、電子メールの受信ボックスと文字対応デバイスだけで使用できます。

電子メールアドレスが削除されると、そのデバイスが無効になります。
- テキスト：電子メールの本文、または文字対応デバイスのテキスト ページとして表示される、テキスト メッセージの内容です。メッセージの最大長は 128 文字です。
- 電子メールへの添付：この設定を有効にすると、メッセージ通知の電子メールに新しいボイス メッセージが .wav ファイルとして添付されます。.wav ファイルの形式は、G711 mu-law、8KHz 8 ビット、Mono です。

この設定は、電子メールの受信ボックスだけで使用できます。

この設定はデフォルトで無効となり、メッセージ通知にボイス メッセージが添付されません。

この設定に関係なく、システムがプライベート メッセージを通知電子メールに添付することはありません。

システム全体の添付設定は、ユーザまたはグループごとの設定よりも優先されます。管理者が、システム全体で電子メールの添付設定を無効にすると、ユーザが自分のデバイスに対して設定を有効にできなくなります。

管理者がこのシステム全体の設定を無効から有効に変更した場合、システムは個別に設定されたユーザまたはグループの設定を変更しません。
- デバイスの有効化：ユーザまたは管理者は、メッセージ通知を受信するデバイスを有効にする必要があります。電話機および数字用ポケットベルでは、正しい電話番号を有効にする必要があります。電子メールの受信ボックスおよび文字対応デバイスでは、正しい電子メールアドレスを有効にする必要があります。

管理者がシステム全体の設定を無効に変更すると、ユーザはすべてのデバイスを有効にできなくなります。ユーザがデバイスを有効にできるのは、システム全体の設定が有効になっている場合だけです。

- 通知設定：ユーザまたは管理者は、通知が送信されるメッセージのタイプ（すべてのメッセージまたは緊急メッセージ）を設定できます。デフォルトは緊急メッセージです。

システム全体の添付設定は、ユーザまたはグループごとの設定よりも優先されます。管理者がシステム全体の設定を「すべて」から「緊急」に変更すると、ユーザは自分のデバイスの設定を有効にできなくなります。

- 通知スケジュール：ユーザまたは管理者は、特定のデバイスに対して通知をアクティブにするスケジュールを設定できます。タイム スロットは曜日に関係なく 24 時間を使用でき、30 分単位で設定できます。

デフォルトのスケジュールは、月曜日から金曜日の午前 8:00 から午後 5:00 です。

デバイスが非アクティブのときに新規メッセージが届いた場合、次のアクティブなタイム スロットになったときにメッセージが「新規」状態であっても、システムは通知を送信しません。

## オプションと設定

表 14 に、メッセージ通知機能の設定に使用可能な設定とオプション、その設定またはオプションで定義される状態が、システム全体のものか、ユーザまたはグループごとのものかを示します。また、その設定またはオプションを設定可能なインターフェイスも示してあります。

表 14                      メッセージ通知の設定

設定またはオプション	インターフェイス			
	CLI	GUI	TUI	VoiceView
<b>システム全体</b>				
通知の有効化	○	○		
通知設定	○	○		
ボイス メッセージの添付	○	○		
接続タイムアウト	○	○		
発信中のメールボックスへのログイン	○	○		
規制テーブル	○	○		
SMTP サーバの設定	○	○		
差出人アドレス	○	○		
<b>ユーザまたはグループ</b>				
電話番号	○	○	○	○
追加の番号	○	○	○	○
宛先	○	○		○
テキスト	○	○		○
電子メールへのボイスメール添付	○	○		○
デバイスの有効化	○	○	○ <sup>1</sup>	○
通知設定	○	○	○ <sup>1</sup>	○
通知スケジュール	○	○	○ <sup>1</sup>	○

1. 電子メールの受信ボックスおよび文字対応デバイスを除く。

## メッセージ通知の送信と受信

ユーザまたは GDM が新しいボイス メッセージを受信すると、システムはそのメールボックスに対してメッセージ通知が有効になっているかどうかを調べます。通知が無効の場合、システムは通知を生成しません。

通知が有効の場合、システムは有効化されたデバイス、およびそのデバイスの通知スケジュールを調べます。有効化されたデバイスが、そのメッセージを受信した時点で通知の受信を許可されている場合、システムはそのデバイスに通知を送信します。General Delivery Mailbox (GDM; 共用メールボックス) の場合は、グループのすべてのメンバーではなく、有効化されたデバイスだけに通知されます。

メッセージ通知の処理は、次の項で説明するように、デバイス タイプによって異なります。

- 「電話機への通知」(P.222)
- 「数字用ポケットベルへの通知」(P.222)
- 「電子メールの受信ボックスへの通知」(P.223)
- 「文字対応デバイスへの通知」(P.223)

### 電話機への通知

電話機に通知するには、Cisco Unity Express システムが設定された電話番号に通話します。

ユーザがその通話に応答すると、システムは設定された追加の番号を送信します。ユーザには、メールボックス ID と PIN を使用してメールボックスにログインするか（このオプションが有効な場合）、通話を受けたデバイスへの通知を無効にするかのオプションが提示されます。

ユーザが、設定された秒数の間通話に応答しなかった場合、またはデバイスが通話中だった場合、システムは通話を切断し、ユーザへの通話を再試行しません。

受信者は、通知中に電話機に対するメッセージ通知をオフにすることができます。受信者がオフにした場合、システムはそのデバイスに対する通知がオフにされていることを示すメッセージを、その受信者のメールボックスに残します。

管理者は、通知のループに注意する必要があります。たとえば、ユーザ A がユーザ B への通知を設定し、ユーザ B がユーザ C への通知を設定し、ユーザ C がユーザ A への通知を設定したとすると、これらのユーザのメールボックスが通知で満杯になります。この場合は、管理者がいずれかのユーザへの通知を無効にする必要があります、それによってループが止まります。管理者は、そのユーザに対する通知を再び有効にしてください。

### 数字用ポケットベルへの通知

数字用ポケットベルに通知するには、Cisco Unity Express システムが設定された電話番号に通話します。

ポケットベルがその通話に応答すると、システムは設定された追加の番号を送信し、通話を切断します。追加の番号は、ポケットベルのディスプレイに表示されます。

デバイスが、設定された秒数の間通話に応答しなかった場合（接続タイムアウト）、またはデバイスが通話中だった場合、システムは通話を切断し、そのデバイスへの通話を再試行しません。



## 電子メールの受信ボックスへの通知

システムは、新規メッセージを受信するたびに、設定された電子メール アドレスに電子メール メッセージを送信します。



(注) STMP サーバが設定されていないと、電子メール通知が送信されません。

電子メール メッセージの件名は「Message Notification」です。電子メール メッセージの本文には、メッセージ タイプ、内線番号またはユーザ ID、メッセージの送信者、および送信者が設定したメッセージ テキストが含まれます。電子メール メッセージのサンプルを次に示します。

```
Message Type: Urgent
Message for: userA
Message from: userB
Meeting scheduled at 2:00 pm today in conference room 3
```

ボイス メッセージを添付するオプションが有効な場合は、メッセージが .wav ファイルとして添付されます。 .wav ファイルの形式は、G711 mu-law、8KHz 8 ビット、Mono です。ファイル名の形式は VM\_yyyy.mm.dd\_hh.mm.ss.wav となり、yyyy は年、dd は日、hh は 24 時間形式の時、mm は分、ss は秒です。

システムが電子メールを配信できない場合、メッセージの配信失敗通知は生成されません。

## 文字対応デバイスへの通知

システムは、新規メッセージを受信するたびに、設定された電子メール アドレスに電子メール メッセージを送信し、テキスト ページを 1 つ作成します。



(注) STMP サーバが設定されていないと、文字対応デバイスの通知が送信されません。

電子メール メッセージの件名は「Message Notification」です。電子メール メッセージの本文には、メッセージ タイプ、内線番号またはユーザ ID、メッセージの送信者、およびメッセージ受信者が通知の設定時に設定したメッセージ テキストが含まれます。このテキストは、このユーザが受信するすべてのメッセージに対して同じです。

電子メール メッセージのサンプルを次に示します。

```
Message Type: Urgent
Message for: userA
Message from: userB
New voicemail for number 1122
```

システムが電子メールを配信できない場合、メッセージの配信失敗通知は生成されません。

# システム全体の設定

システム全体のメッセージ通知設定を設定するには、次の手順に従ってください。

## 前提条件

メッセージ通知機能を設定するには、次の項目を事前に設定する必要があります。

- SMTP サーバのホスト名
- SMTP の認証値（ユーザ ID およびパスワードまたは資格ストリング）
- 規制テーブル

通知の前にテキスト メッセージを付加したり、通知の後にシグニチャ メッセージを付加するには、Cisco Unity Express 8.0 以降のバージョンが必要です。

SMTP パラメータの設定については、「SMTP パラメータの設定」(P.117) を参照してください。規制テーブルのパラメータの設定については、「規制テーブルの設定」(P.357) を参照してください。

## この手順に必要なデータ

- ユーザまたはグループの一部がメッセージ通知にアクセスする場合は、ユーザ ID またはグループ名
- 通知設定
- 接続がタイムアウトするまでの秒数
- 規制テーブルに電話番号を追加する場合：
  - ダイヤル ストリングの最大および最小桁数
  - 1 つ以上のダイヤル ストリング パターン
- 発信電子メール用の差出人アドレス

## 概略手順

1. **config t**
2. **voicemail notification enable**  
SMTP サーバを使用できない場合は、電子メールおよび文字対応デバイスへの通知が機能しないことを管理者に警告するメッセージが表示されます。
3. (オプション) **voicemail notification preference {all | urgent}**
4. (オプション) **voicemail notification email attach**
5. (オプション) **voicemail notification connect-timeout seconds**
6. (オプション) **voicemail notification text prefix {append “text message” | delimiting character}**
7. (オプション) **voicemail notification text suffix {append “text message” | delimiting character}**
8. (オプション) **voicemail notification allow-login**
9. **voicemail configuration outgoing-email from-address email-address**
10. **end**
11. **show voicemail notification**

- 12. show voicemail notification restriction-table
- 13. show smtp server
- 14. show voicemail configuration

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<p><code>config t</code></p> <p>例： se-10-0-0-0# config t</p>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<p><code>voicemail notification enable</code></p> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification enable</p>	システム全体でボイス メッセージ通知を有効にします。このコマンドは、いずれかのユーザまたはグループに対して機能を有効にする前に、実行する必要があります。
ステップ 3	<p><code>voicemail notification preference {all   urgent}</code></p> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification preference all se-10-0-0-0(config)# voicemail notification preference urgent</p>	<p>(オプション) 通知を生成するメッセージのタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>all</b> : すべてのメッセージで通知を生成します。</li> <li>• <b>urgent</b> : 緊急メッセージだけで通知を生成します。システム全体のデフォルトは <b>urgent</b> です。</li> </ul>
ステップ 4	<p><code>voicemail notification email attach</code></p> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification email attach</p>	(オプション) 発信通知電子メールに、ユーザがボイス メッセージを添付できるようにします。システム全体のデフォルトでは無効になっています。
ステップ 5	<p><code>voicemail notification connect-timeout seconds</code></p> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification connect-timeout 60</p>	<p>(オプション) 発信メッセージ通知通話を切断し、通話失敗と見なすまでの秒数を指定します。有効な値は 12 ~ 96 です。デフォルトは 48 です。</p> <p>この値は、電話機および数字用ポケットベルだけに適用されます。</p>
ステップ 6	<p><code>voicemail notification allow-login</code></p> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification allow-login</p>	<p>(オプション) 発信通知通話中に、ユーザがボイスメールにログインできるようにします。デフォルトでは無効になっています。</p> <p>有効な場合、システムはボイスメールにログインしてメッセージを取得するオプションをユーザに提供します。</p>
ステップ 7	<p><code>voicemail notification text prefix {append "text message"   delimiting character}</code></p> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification prefix append "You have a new voicemail."</p>	(オプション、Cisco Unity Express 8.0 以降のバージョンにだけ該当) システム全体で、ボイスメール通知の前にテキストメッセージを付加します。

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 8	<pre>voicemail notification text suffix {append "text message"   delimiting character}</pre> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail notification suffix append "VoiceMail Administration."</p>	(オプション、Cisco Unity Express 8.0 以降のバージョンにだけ該当) システム全体で、通知テキストの後にシグニチャ テキストを付加します。
ステップ 9	<pre>voicemail configuration outgoing-email from-address email-address</pre> <p>例： se-10-0-0-0(config)# voicemail configuration outgoing-email from-address companyname@mycompany.com</p>	発信 Cisco Unity Express 電子メール メッセージの差出人フィールドに使用されるアドレスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>email-address</i> : 名前とドメイン名。最大長は 128 文字です。</li> </ul>
ステップ 10	<pre>end</pre>	設定モードを終了します。
ステップ 11	<pre>show voicemail notification</pre> <p>例： se-10-0-0-0# show voicemail notification</p>	設定されているメッセージ通知設定を表示します。
ステップ 12	<pre>show voicemail notification restriction-table</pre> <p>例： se-10-0-0-0# show voicemail notification restriction-table</p>	設定されている規制テーブルを表示します。
ステップ 13	<pre>show smtp server</pre> <p>例： se-10-0-0-0# show smtp server</p>	SMTP サーバの設定を表示します。
ステップ 14	<pre>show voicemail configuration</pre> <p>例： se-10-0-0-0# show voicemail configuration</p>	発信電子メール メッセージの差出人アドレスを表示します。

## 例

次の例は、**show voicemail notification** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification

Message Notification:      enabled
Notification Preference:  all
Connection Timeout:      60 seconds
Login to VoiceMail allowed: no
Attach voice message:    yes
```

次の例は、**show voicemail notification restriction-table** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification restriction-table

Restriction table:      msg-notification
Minimum digits allowed:  5
Maximum digits allowed: 18
Dial-Strings:
```

Preference	Call Pattern	Allowed
1	91222*	Yes
2	*	No

次の例は、**show smtp server** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show smtp server
```

```
SMTP Server: 172.16.1.1
Authentication: Required
Username: smtp123
```

次の例は、**show voicemail configuration** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail configuration
```

```
Outgoing Email From-Address:      companyname@mycompany.com
```

## ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化

ユーザまたはグループ用にデバイス上でメッセージ通知を設定する前に、そのユーザまたはグループに対してメッセージ通知機能を有効にしてください。

Cisco Unity Express 設定モードで開始し、次のコマンドを使用してメッセージ通知を有効にします。

```
voicemail notification owner owner-id enable
```

ここで、*owner-id* はメッセージ通知機能に必要なユーザのユーザ名、またはグループのグループ名です。

The following example enables message notification for the subscriber user5 and the group sales:

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# voicemail notification owner user5 enable
se-10-0-0-0(config)# voicemail notification owner sales enable
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0#
```

次に、ユーザまたはグループの 1 つ以上のデバイスでメッセージ通知を設定します。

## デバイスに対するメッセージ通知の設定

メッセージ通知用にデバイスを設定するには、次の手順に従ってください。

- 「電話機に対するメッセージ通知の設定」 (P.228)
- 「数字用ポケットベルに対するメッセージ通知の設定」 (P.231)
- 「電子メールに対するメッセージ通知の設定」 (P.235)
- 「文字対応デバイスに対するメッセージ通知の設定」 (P.239)

## 電話機に対するメッセージ通知の設定

この手順を使用すると、ユーザまたはグループの電話機に対してメッセージ通知を設定できます。

### 前提条件

ユーザまたはグループに対してメッセージ通知機能が有効になっている。「ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化」(P.227)を参照してください。

### この手順に必要なデータ

- 電話番号
- 追加の番号 (ある場合)
- 通知設定
- 通知がアクティブになる日時

### 概略手順

1. **username *username* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} phonenumber *phonenumber***  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} phonenumber *phonenumber***
2. (オプション) **username *username* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} extra-digits *digits***  
 または、  
 (オプション) **groupname *groupname* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} extra-digits *digits***
3. **username *username* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} enable**  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} enable**
4. **username *username* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} preference {all | urgent}**  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} preference {all | urgent}**
5. **username *username* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile {cell-phone | home-phone | work-phone} schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***
6. **show voicemail notification owner *owner-id* profile**
7. **show voicemail notification owner *owner-id* {cell-phone | home-phone | work-phone}**

詳細手順

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 1</b> <code>username username profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} phonenumber phonenumber</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} phonenumber phonenumber</code></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone phonenumber 912225550150 se-10-0-0-0# username user4 profile vm-notif-profile home-phone phonenumber 912225550160 se-10-0-0-0# groupname sales profile vm-notif-profile work-phone phonenumber 912225550165</p>	<p>メッセージ通知を電話機に送信するときに、システムがダイヤルする電話番号を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>username</code> : ユーザ ID</li> <li>• <code>groupname</code> : グループ ID</li> <li>• <code>onenumber</code> : デバイスの電話番号。電話番号にはアクセスコードを含められません。有効な文字は数字の 0 ~ 9 です。</li> </ul> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• 電話番号が制限されている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 2</b> <code>username username profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} extra-digits digits</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} extra-digits digits</code></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone extra-digits 1234 se-10-0-0-0# groupname sales profile vm-notif-profile work-phone extra-digits 7675</p>	<p>(オプション) 発信通話の応答後にダイヤルすべき追加の番号を入力します。</p> <p>有効な値は、数字 0 ~ 9、ポンド記号またはハッシュ記号 (#)、アスタリスク (*)、およびプラス記号 (+) です。プラス記号では、番号に 1 秒間の休止が追加されます。番号の最大長は 64 文字です。</p> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 追加の番号が 64 文字を超えている。</li> <li>• 追加の番号に許可されない文字が含まれている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 3</b> <code>username username profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} enable</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} enable</code></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone enable se-10-0-0-0# username user4 profile vm-notif-profile home-phone enable se-10-0-0-0# groupname sales profile vm-notif-profile work-phone enable</p>	<p>デバイスがメッセージ通知を受信できるようにします。</p> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 電話機に電話番号が割り当てられていない。</li> <li>• システム全体でメッセージ通知が無効になっている。</li> </ul>

## ■ デバイスに対するメッセージ通知の設定

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 4</b> <code>username <i>username</i> profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} preference {all   urgent}</code> または、 <code>groupname <i>groupname</i> profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} preference {all   urgent}</code></p> <p><b>例：</b> se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone all se-10-0-0-0# username user4 profile vm-notif-profile home-phone preference urgent se-10-0-0-0# groupname sales profile vm-notif-profile work-phone preference all</p>	<p>通知を生成するメッセージのタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>all</b> : すべてのメッセージで通知を生成します。</li> <li>• <b>urgent</b> : 緊急メッセージだけで通知を生成します。デフォルトは <b>urgent</b> です。</li> </ul> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• システム全体では <b>urgent</b> に設定されているが、このコマンドで <b>all</b> に設定しようとした。</li> </ul>
<p><b>ステップ 5</b> <code>username <i>username</i> profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} schedule day <i>day-of-week</i> active from <i>hh:mm</i> to <i>hh:mm</i></code> または、 <code>groupname <i>groupname</i> profile vm-notif-profile {cell-phone   home-phone   work-phone} schedule day <i>day-of-week</i> active from <i>hh:mm</i> to <i>hh:mm</i></code></p> <p><b>例：</b> se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone schedule day 2 active from 08:00 to 11:30 se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone schedule day 2 active from 13:00 to 17:30 se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone schedule day 3 active from 08:00 to 15:00 se-10-0-0-0# username user3 profile vm-notif-profile cell-phone schedule day 6 active from 09:00 to 13:30 se-10-0-0-0# username user4 profile vm-notif-profile home-phone schedule day 2 active from 08:00 to 12:00 se-10-0-0-0# groupname sales profile vm-notif-profile work-phone schedule day 3 active from 08:00 to 18:00 se-10-0-0-0# groupname sales profile vm-notif-profile work-phone schedule day 5 active from 08:00 to 20:00</p>	<p>このデバイスに対してメッセージ通知がアクティブになる日時を指定します。この操作では、指定したタイム スロットだけが変更され、他のタイム スロットは変更されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>day-of-week</b> : 有効な値は 1 ~ 7 で、1 は日曜日、2 は月曜日の順になります。</li> <li>• <b>hh</b> : 有効な値は 00 ~ 24 です。開始時刻と終了時刻には 24 時間時計を使用します。</li> <li>• <b>mm</b> : 有効な値は 00 または 30 です。</li> </ul> <p>メッセージ通知をアクティブにする曜日および時間ブロックごとに、この手順を繰り返します。</p> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 開始時刻が終了時刻よりも遅い時刻になっている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 6</b> <code>show voicemail notification owner <i>owner-id</i> profile</code></p> <p><b>例：</b> se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user3 profile</p>	<p>ユーザまたはグループのメッセージ通知のステータスを表示します。</p>
<p><b>ステップ 7</b> <code>show voicemail notification owner <i>owner-id</i> {cell-phone   home-phone   work-phone}</code></p> <p><b>例：</b> se-10-0-0-0# show notification owner user3 cell-phone</p>	<p>ユーザまたはグループのデバイスの設定を表示します。</p>



## 例

次の例は、**show voicemail notification owner** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user3 profile
```

```
Message notification:    enabled
Profile:                 vm-notif-profile
```

次の例は、**show voicemail notification owner cell-phone** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user3 cell-phone
```

```
Profile:                 vm-notif-profile
Device:                  cell-phone
Enabled:                  yes
Preference:               all
Phone/Email:              912225550150
Extra Digits:             1234
Schedule (active hours):
  Sunday                  Inactive all day
  Monday                  08:00 to 11:30, 13:00 to 17:30
  Tuesday                 08:00 to 15:00
  Wednesday               Inactive all day
  Thursday                Inactive all day
  Friday                  09:00 to 13:30
  Saturday                Inactive all day
```

## 数字用ポケットベルに対するメッセージ通知の設定

この手順を使用すると、ユーザまたはグループの数字用ポケットベルに対してメッセージ通知を設定できます。

### 前提条件

ユーザまたはグループに対してメッセージ通知機能が有効になっている。「[ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化](#)」(P.227)を参照してください。

### この手順に必要なデータ

- 電話番号
- 追加の番号 (ある場合)
- 通知設定
- 通知がアクティブになる日時

### 概略手順

1. **username *username* profile vm-notif-profile num-pager *phonenumber* *phonenumber***  
または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile num-pager *phonenumber* *phonenumber***

2. (オプション) **username *username* profile vm-notif-profile num-pager extra-digits *digits***  
 または、  
 (オプション) **groupname *groupname* profile vm-notif-profile num-pager extra-digits *digits***
3. **username *username* profile vm-notif-profile num-pager enable**  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile num-pager enable**
4. **username *username* profile vm-notif-profile num-pager preference {all | urgent}**  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile num-pager preference {all | urgent}**
5. **username *username* profile vm-notif-profile num-pager schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***  
 または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile num-pager schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***
6. **show voicemail notification owner *owner-id* profile**
7. **show voicemail notification owner *owner-id* num-pager**

詳細手順

コマンドまたは操作	目的
<p>ステップ1 <b>username <i>username</i> profile vm-notif-profile num-pager <i>phonenum</i></b>  <b>phonenum <i>phonenum</i></b>                      または、  <b>groupname <i>groupname</i> profile vm-notif-profile num-pager <i>phonenum</i></b>  <b>phonenum <i>phonenum</i></b></p> <p>例：                      se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager phonenum 912225550150                      se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager phonenum 912225550180</p>	<p>メッセージ通知を数字用ポケットベルに送信するときに、システムがダイヤルする電話番号を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>username</i> : ユーザ ID。</li> <li>• <i>groupname</i> : グループ ID。</li> <li>• <i>phonenum</i> : デバイスの電話番号。電話番号にはアクセスコードを含められません。有効な文字は数字の 0 ~ 9 です。</li> </ul> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• 電話番号が制限されている。</li> </ul>

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 2</b> <code>username username profile vm-notif-profile num-pager extra-digits digits</code>                      または、  <code>groupname groupname profile vm-notif-profile num-pager extra-digits digits</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager extra-digits 1234</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager extra-digits 8282</code></p>	<p>(オプション) 発信通話の応答後にダイヤルすべき追加の番号を入力します。</p> <p>有効な値は、数字 0 ~ 9、ポンド記号またはハッシュ記号 (#)、アスタリスク (*)、およびプラス記号 (+) です。プラス記号では、番号に 1 秒間の休止が追加されます。番号の最大長は 64 文字です。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 追加の番号が 64 文字を超えている。</li> <li>• 追加の番号に許可されない文字が含まれている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 3</b> <code>username username profile vm-notif-profile num-pager enable</code>                      または、  <code>groupname groupname profile vm-notif-profile num-pager enable</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager enable</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager enable</code></p>	<p>デバイスがメッセージ通知を受信できるようにします。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 数字用ポケットベルに電話番号が割り当てられていない。</li> <li>• システム全体でメッセージ通知が無効になっている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 4</b> <code>username username profile vm-notif-profile num-pager preference {all   urgent}</code>                      または、  <code>groupname groupname profile vm-notif-profile num-pager preference {all   urgent}</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager all</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager urgent</code></p>	<p>通知を生成するメッセージのタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>all</b> : すべてのメッセージで通知を生成します。</li> <li>• <b>urgent</b> : 緊急メッセージだけで通知を生成します。デフォルトは <b>urgent</b> です。</li> </ul> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• システム全体では <b>urgent</b> に設定されているが、このコマンドで <b>all</b> に設定しようとした。</li> </ul>

## ■ デバイスに対するメッセージ通知の設定

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 5</b> <code>username username profile vm-notif-profile num-pager schedule day day-of-week active from hh:mm to hh:mm</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile num-pager schedule day day-of-week active from hh:mm to hh:mm</code></p> <p><b>例：</b>  <pre>se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager schedule day 2 active from 08:00 to 11:30 se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager schedule day 2 active from 13:00 to 17:30 se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager schedule day 3 active from 08:00 to 15:00 se-10-0-0-0# username user5 profile vm-notif-profile num-pager schedule day 6 active from 09:00 to 13:30 se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager schedule day 2 active from 08:00 to 17:00 se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager schedule day 4 active from 08:00 to 12:00 se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager schedule day 4 active from 13:30 to 20:00 se-10-0-0-0# groupname techs profile vm-notif-profile num-pager schedule day 6 active from 08:00 to 15:00</pre> </p>	<p>このデバイスに対してメッセージ通知がアクティブになる日時を指定します。この操作では、指定したタイム スロットだけが変更され、他のタイム スロットは変更されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><code>day-of-week</code> : 有効な値は 1 ~ 7 で、1 は日曜日、2 は月曜日の順になります。</li> <li><code>hh</code> : 有効な値は 00 ~ 24 です。開始時刻と終了時刻には 24 時間時計を使用します。</li> <li><code>mm</code> : 有効な値は 00 または 30 です。</li> </ul> <p>メッセージ通知をアクティブにする曜日および時間ブロックごとに、この手順を繰り返します。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>プロファイルが存在しない。</li> <li>開始時刻が終了時刻よりも遅い時刻になっている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 6</b> <code>show voicemail notification owner owner-id profile</code></p> <p><b>例：</b>  <pre>se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user5 profile</pre> </p>	<p>ユーザまたはグループのメッセージ通知のステータスを表示します。</p>
<p><b>ステップ 7</b> <code>show voicemail notification owner owner-id num-pager</code></p> <p><b>例：</b>  <pre>se-10-0-0-0# show notification owner techs num-pager</pre> </p>	<p>ユーザまたはグループのデバイスの設定を表示します。</p>

## 例

次の例は、`show voicemail notification owner` コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user5 profile
```

```
Message notification:    enabled
Profile:                 vm-notif-profile
```

次の例は、`show voicemail notification owner num-pager` コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner techs num-pager
```

```
Profile:                 vm-notif-profile
Device:                  num-pager
Enabled:                  yes
Preference:               urgent
Phone/Email:              912225550180
Extra Digits:             8282
Schedule (active hours):
  Sunday                  Inactive all day
  Monday                  08:00 to 17:00
```

Tuesday	Inactive all day
Wednesday	08:00 to 12:00, 13:30 to 20:00
Thursday	Inactive all day
Friday	08:00 to 15:00
Saturday	Inactive all day

## 電子メールに対するメッセージ通知の設定

この手順を使用すると、ユーザまたはグループの電子メール受信ボックスに対してメッセージ通知を設定できます。

### 前提条件

ユーザまたはグループに対してメッセージ通知機能が有効になっている。「[ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化](#)」(P.227)を参照してください。

### この手順に必要なデータ

- 電子メール アドレス
- 電子メール通知へのボイス メッセージ添付のステータス
- メッセージ テキスト
- 通知設定
- 通知がアクティブになる日時

### 概略手順

1. **username *username* profile vm-notif-profile email address *email-address***  
または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile email address *email-address***
2. **username *username* profile vm-notif-profile email enable**  
または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile email enable**
3. (オプション) **username *username* profile vm-notif-profile email attach**  
または、  
(オプション) **groupname *groupname* profile vm-notif-profile email attach**
4. **username *username* profile vm-notif-profile email preference {all | urgent}**  
または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile email preference {all | urgent}**
5. **username *username* profile vm-notif-profile email schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***  
または、  
**groupname *groupname* profile vm-notif-profile email schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***

6. **username** *username* **profile** *vm-notif-profile* **email text** *email-text*

または、

**groupname** *groupname* **profile** *vm-notif-profile* **email text** *email-text*

7. **show voicemail notification owner** *owner-id* **profile**

8. **show voicemail notification owner** *owner-id* **email**

詳細手順

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 1</b> <b>username</b> <i>username</i> <b>profile</b> <i>vm-notif-profile</i> <b>email address</b> <i>email-address</i> または、 <b>groupname</b> <i>groupname</i> <b>profile</b> <i>vm-notif-profile</i> <b>email address</b> <i>email-address</i></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# <b>username</b> user6 <b>profile</b> vm-notif-profile <b>email address</b> user6@company.com se-10-0-0-0# <b>groupname</b> mgrs <b>profile</b> vm-notif-profile <b>email address</b> mgrs@company.com</p>	<p>メッセージ通知を受信するための、ユーザまたはグループの電子メール アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>username</i> : ユーザ ID。</li> <li>• <i>groupname</i> : グループ ID。</li> <li>• <i>email-address</i> : ユーザの電子メール アドレス。電子メール アドレスの英数字の最大数は 129 文字です。</li> </ul> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• 電子メール アドレスが 129 文字を超えている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 2</b> <b>username</b> <i>username</i> <b>profile</b> <i>vm-notif-profile</i> <b>email enable</b> または、 <b>groupname</b> <i>groupname</i> <b>profile</b> <i>vm-notif-profile</i> <b>email enable</b></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# <b>username</b> user6 <b>profile</b> vm-notif-profile <b>email enable</b> se-10-0-0-0# <b>groupname</b> mgrs <b>profile</b> vm-notif-profile <b>email enable</b></p>	<p>デバイスがメッセージ通知を受信できるようにします。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• システム全体でメッセージ通知が無効になっている。</li> <li>• SMTP サーバが設定されていない。</li> </ul>

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 3</b> <code>username username profile vm-notif-profile email attach</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile email attach</code></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# <code>username user6 profile vm-notif-profile email attach</code> se-10-0-0-0# <code>groupname mgrs profile vm-notif-profile email attach</code></p>	<p>発信電子メール通知にボイス メッセージを添付できるようにします。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 電子メールへの添付がシステム全体で無効になっているが、このコマンドで有効にしようとした。</li> </ul>
<p><b>ステップ 4</b> <code>username username profile vm-notif-profile email text email-text</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile email text email-text</code></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# <code>username user6 profile vm-notif-profile email text "Sales meeting scheduled for 05/26/06 2:00 pm main office room A"</code> se-10-0-0-0# <code>groupname mgrs profile vm-notif-profile email text "1Q06 reports due Friday by noon"</code></p>	<p>発信電子メール メッセージに添付されるテキストを設定します。</p> <p><i>email-text</i> には、疑問符 (?) 以外のすべての英数字を使用できます。メッセージの最大長は 128 文字です。メッセージは二重引用符 (" ") で囲みます。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• テキスト メッセージが 128 文字を超えている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 5</b> <code>username username profile vm-notif-profile email preference {all   urgent}</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile email preference {all   urgent}</code></p> <p><b>例 :</b> se-10-0-0-0# <code>username user6 profile vm-notif-profile email preference urgent</code> se-10-0-0-0# <code>groupname mgrs profile vm-notify-profile email preference all</code></p>	<p>通知を生成するメッセージのタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>all</b> : すべてのメッセージで通知を生成します。</li> <li>• <b>urgent</b> : 緊急メッセージだけで通知を生成します。デフォルトは <b>urgent</b> です。</li> </ul> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• システム全体では <b>urgent</b> に設定されているが、このコマンドで <b>all</b> に設定しようとした。</li> </ul>

■ デバイスに対するメッセージ通知の設定

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 6</b> <code>username username profile vm-notif-profile email schedule day day-of-week active from hh:mm to hh:mm</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile email schedule day day-of-week active from hh:mm to hh:mm</code></p> <p><b>例：</b>  <pre>se-10-0-0-0# username user6 profile vm-notif-profile email schedule day 2 active from 08:00 to 11:30 se-10-0-0-0# username user6 profile vm-notif-profile email schedule day 2 active from 13:00 to 17:30 se-10-0-0-0# username user6 profile vm-notif-profile email schedule day 3 active from 08:00 to 15:00 se-10-0-0-0# username user6 profile vm-notif-profile email schedule day 6 active from 09:00 to 13:30 se-10-0-0-0# groupname mgrs profile vm-notif-profile email schedule day 2 active from 08:30 to 18:00 se-10-0-0-0# groupname mgrs profile vm-notif-profile email schedule day 3 active from 12:00 to 18:00 se-10-0-0-0# groupname mgrs profile vm-notif-profile email schedule day 4 active from 09:00 to 15:00 se-10-0-0-0# groupname mgrs profile vm-notif-profile email schedule day 5 active from 07:00 to 17:00</pre> </p>	<p>このデバイスに対してメッセージ通知がアクティブになる日時を指定します。この操作では、指定したタイム スロットだけが変更され、他のタイム スロットは変更されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><code>day-of-week</code> : 有効な値は 1 ~ 7 で、1 は日曜日、2 は月曜日の順になります。</li> <li><code>hh</code> : 有効な値は 00 ~ 24 です。開始時刻と終了時刻には 24 時間時計を使用します。</li> <li><code>mm</code> : 有効な値は 00 または 30 です。</li> </ul> <p>メッセージ通知をアクティブにする曜日および時間ブロックごとに、この手順を繰り返します。</p> <p>次の場合はシステム メッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>プロフィールが存在しない。</li> <li>開始時刻が終了時刻よりも遅い時刻になっている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 7</b> <code>show voicemail notification owner owner-id profile</code></p> <p><b>例：</b>  <pre>se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user6 profile</pre> </p>	<p>ユーザまたはグループのメッセージ通知のステータスを表示します。</p>
<p><b>ステップ 8</b> <code>show voicemail notification owner owner-id email</code></p> <p><b>例：</b>  <pre>se-10-0-0-0# show notification owner mgrs email</pre> </p>	<p>ユーザまたはグループのデバイスの設定を表示します。</p>

例

次の例は、**show voicemail notification owner** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner mgrs profile
```

```
Message notification:    enabled
Profile:                 vm-notif-profile
```

次の例は、**show voicemail notification owner email** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user6 email
```

```
Profile:                 vm-notif-profile
Device:                 email
Enabled:                yes
Preference:             all
Email:                  mgrs@company.com
Attach VM:              yes
Schedule (active hours):
    Sunday               Inactive all day
    Monday               08:00 to 11:30, 13:00 to 17:30
```



Tuesday	08:00 to 15:00
Wednesday	Inactive all day
Thursday	Inactive all day
Friday	09:00 to 13:30
Saturday	Inactive all day

## 文字対応デバイスに対するメッセージ通知の設定

この手順を使用すると、ユーザまたはグループの文字対応デバイスに対してメッセージ通知を設定できます。

### 前提条件

ユーザまたはグループに対してメッセージ通知機能が有効になっている。「[ユーザまたはグループに対するメッセージ通知の有効化](#)」(P.227)を参照してください。

### この手順に必要なデータ

- 電子メール アドレス
- メッセージ テキスト
- 通知設定
- 通知がアクティブになる日時

### 概略手順

1. **username *username* profile *vm-notif-profile* text-pager address *email-address***  
または、  
**groupname *groupname* profile *vm-notif-profile* text-pager address *email-address***
2. **username *username* profile *vm-notif-profile* text-pager enable**  
または、  
**groupname *groupname* profile *vm-notif-profile* text-pager enable**
3. **username *username* profile *vm-notif-profile* text-pager preference {*all* | *urgent*}**  
または、  
**groupname *groupname* profile *vm-notif-profile* text-pager preference {*all* | *urgent*}**
4. **username *username* profile *vm-notif-profile* text-pager schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***  
または、  
**groupname *groupname* profile *vm-notif-profile* text-pager schedule day *day-of-week* active from *hh:mm* to *hh:mm***
5. **username *username* profile *vm-notif-profile* text-pager text *email-text***  
または、  
**groupname *groupname* profile *vm-notif-profile* text-pager text *email-text***
6. **show voicemail notification owner *owner-id* profile**
7. **show voicemail notification owner *owner-id* text-pager**

## 詳細手順

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 1</b> <code>username username profile vm-notif-profile text-pager address email-address</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile text-pager address email-address</code></p> <p><b>例:</b> se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager address user3@company.com se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager address pubrel@mycompany.com</p>	<p>メッセージ通知を受信するための、ユーザの電子メールアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>username</code> : ユーザ ID。</li> <li>• <code>groupname</code> : グループ ID。</li> <li>• <code>email-address</code> : ユーザの電子メールアドレス。電子メールアドレスの英数字の最大数は 129 文字です。</li> </ul> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• 電子メールアドレスが 129 文字を超えている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 2</b> <code>username username profile vm-notif-profile text-pager enable</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile text-pager enable</code></p> <p><b>例:</b> se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager enable se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager enable</p>	<p>デバイスがメッセージ通知を受信できるようにします。</p> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• システム全体でメッセージ通知が無効になっている。</li> <li>• SMTP サーバが設定されていない。</li> </ul>
<p><b>ステップ 3</b> <code>username username profile vm-notif-profile text-pager text email-text</code> または、 <code>groupname groupname profile vm-notif-profile text-pager text email-text</code></p> <p><b>例:</b> se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager text "Sales meeting scheduled for 05/26/06 2:00 pm main office room A" se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager text "Account collaterals due tomorrow by 9 am"</p>	<p>発信する文字対応デバイスへのメッセージに添付されるテキストを設定します。</p> <p><code>email-text</code> には、疑問符 (?) 以外のすべての英数字を使用できます。メッセージの最大長は 128 文字です。メッセージは二重引用符 (" ") で囲みます。</p> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• テキストメッセージが 128 文字を超えている。</li> </ul>

コマンドまたは操作	目的
<p><b>ステップ 4</b> <code>username username profile vm-notif-profile text-pager preference {all   urgent}</code>                      または、  <code>groupname groupname profile vm-notif-profile text-pager preference {all   urgent}</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager preference urgent</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager preference all</code></p>	<p>通知を生成するメッセージのタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>all</b> : すべてのメッセージで通知を生成します。</li> <li>• <b>urgent</b> : 緊急メッセージだけで通知を生成します。デフォルトは <b>urgent</b> です。</li> </ul> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• システム全体では <b>urgent</b> に設定されているが、このコマンドで <b>all</b> に設定しようとした。</li> </ul>
<p><b>ステップ 5</b> <code>username username profile vm-notif-profile text-pager schedule day day-of-week active from hh:mm to hh:mm</code>                      または、  <code>groupname groupname profile vm-notif-profile text-pager schedule day day-of-week active from hh:mm to hh:mm</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager schedule day 2 active from 08:00 to 11:30</code>  <code>se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager schedule day 2 active from 13:00 to 17:30</code>  <code>se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager schedule day 3 active from 08:00 to 15:00</code>  <code>se-10-0-0-0# username user7 profile vm-notif-profile text-pager schedule day 6 active from 09:00 to 13:30</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager schedule day 2 active 08:30 to 12:00</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager schedule day 3 active 09:00 to 17:00</code>  <code>se-10-0-0-0# groupname pubrel profile vm-notif-profile text-pager schedule day 5 active 13:00 to 18:00</code></p>	<p>このデバイスに対してメッセージ通知がアクティブになる日時を指定します。この操作では、指定したタイム スロットだけが変更され、他のタイム スロットは変更されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>day-of-week</b> : 有効な値は 1 ~ 7 で、1 は日曜日、2 は月曜日の順になります。</li> <li>• <b>hh</b> : 有効な値は 00 ~ 24 です。開始時刻と終了時刻には 24 時間時計を使用します。</li> <li>• <b>mm</b> : 有効な値は 00 または 30 です。</li> </ul> <p>メッセージ通知をアクティブにする曜日および時間ブロックごとに、この手順を繰り返します。</p> <p>次の場合はシステムメッセージが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザ名またはグループ名が存在しない。</li> <li>• ユーザまたはグループがメールボックスを持っていない。</li> <li>• プロファイルが存在しない。</li> <li>• 開始時刻が終了時刻よりも遅い時刻になっている。</li> </ul>
<p><b>ステップ 6</b> <code>show voicemail notification owner owner-id profile</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user7 profile</code></p>	<p>ユーザまたはグループのメッセージ通知のステータスを表示します。</p>
<p><b>ステップ 7</b> <code>show voicemail notification owner owner-id text-pager</code></p> <p><b>例：</b>  <code>se-10-0-0-0# show notification owner pubrel text-pager</code></p>	<p>ユーザまたはグループのデバイスの設定を表示します。</p>

## 例

次の例は、**show voicemail notification owner** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner user7 profile
Message notification:    enabled
Profile:                 vm-notif-profile
```

次の例は、**show voicemail notification owner text-pager** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
se-10-0-0-0# show voicemail notification owner pubrel text-pager

Profile:                vm-notif-profile
Device:                 text-pager
Enabled:                 yes
Preference:             all
Email:                  pubrel@company.com
Schedule (active hours):
  Sunday                Inactive all day
  Monday                08:30 to 12:00
  Tuesday               09:00 to 17:00
  Wednesday             Inactive all day
  Thursday              Inactive all day
  Friday                13:00 to 18:00
  Saturday              Inactive all day
```

# カスケードメッセージ通知

この項では、次の内容について説明します。

- 「概要」(P.242)
- 「カスケードメッセージ通知の設定」(P.244)

## 概要

リリース 3.0 以降では、2.3(1) で導入された従来のメッセージ通知機能が拡張され、次の操作が可能になりました。

- 受信者に一連のカスケード通知を設定する。
- システム内の他のローカル ユーザに対して通知をカスケードする方法を決める、タイムベースのルールをユーザが定義できる。

たとえば、ユーザ A は次のカスケードルールを設定できます。

- メールボックスにある新規メッセージが、到着後 15 分間経過しても聞かれていない場合は、通知をユーザ B に送信する。
- 新規メッセージが、到着後 30 分間経過しても聞かれていない場合は、通知をユーザ C に送信する。

このシナリオでは、月曜日の午後 1:00 にメッセージがユーザ A に送信され、ユーザ A がそのメッセージを午後 1:15 まで聞かないでいると、ユーザ B に通知が送信されます。Cisco Unity Express は、月曜日の午後 1:15 にユーザ B のデバイスで通知の受信がアクティブになっているかどうかを判定し、ユーザ B のアクティブなすべてのデバイスに対して通知通話を行います。ユーザには、ユーザ A からユーザ B に通知がカスケードされると、ボイス プロンプトが聞こえます。ユーザ A が午後 1:30 になってもこのメッセージを聞いていない場合、ユーザ C のアクティブなすべてのデバイスに対して通知が送信されます。

通知がターゲットにカスケードする場合、カスケードされた通知を聞くユーザは、メールボックスからのカスケードを無効にすることも、自分のプロファイルの中で通知機能を無効にすることもできます。前述の例で、ユーザ B がユーザ A のメールボックスからのカスケードを無効にすると、該当するすべてのメッセージがユーザ A のメールボックスに残ります。これは、ユーザ B へのカスケードがリモートで無効になったためです。

ユーザ B がユーザ B 自身のデバイスへの通知を無効にすると、ユーザ B の通知プロファイルが変更されて、そのデバイスへの通知が無効になります。デバイスへの通知がリモートで無効になったために、メッセージがユーザ B のメールボックスに残ります。

## 設定可能なオプション

### システム設定

この機能は、システム レベルだけで有効または無効にできます。デフォルトでは、この機能が無効になっています。有効にする際は、メッセージ通知機能をシステム レベルで有効にする必要があります。無効から有効に変更すると、個別にカスケード設定が設定されているすべてのユーザに対して、カスケードが有効になります。カスケード機能を無効にしても、ユーザがカスケード用に定義したルールは削除されません。

### ユーザ設定

ユーザは、カスケード機能が有効か無効かにかかわらず、カスケードルールを設定できます。カスケード機能を設定するには、ユーザが次の項目を使用してルールを設定する必要があります。

- ターゲット ユーザ (UserId または gdmId) : カスケード通知に使用されるユーザ ID または GDM ID です。
- 時間 (分) : この時間が経過するまでメッセージが聞かれなかった場合に、ユーザまたは GDM に通知されます。この時間は、元のメッセージを受信した時刻から計算されます。指定可能な最小時間は 5 分間で、最大時間は 1440 分間 (24 時間) です。

ユーザは、このようなルールを最大 2 つ設定できます。ユーザが複数のルールを設定する場合は、2 つのルールのターゲット ID と時間を異なったものにする必要があります。

## 制限と条件

この機能には、次の制限と条件があります。

- 次のいずれかの場合に、通知のカスケードが停止されます。
  - メッセージが保存または削除された。
  - 最後のカスケードルールが実行された。
- この機能は、個人用メールボックスと共用メールボックスの両方に対して使用できます。
- 通知が送信されるのはローカル ユーザだけです。リモート ユーザまたは外部ユーザは、カスケード先として選択できません。
- ターゲット ユーザのスケジュールは、通知のカスケードに使用されます。
- この機能は、次のいずれかで有効または無効にできます。
  - システム管理者がシステム レベルで設定。

デフォルトでは、この機能が無効になっています。この機能を有効にするには、その前にメッセージ通知機能をシステム レベルで有効にする必要があります。ユーザがカスケード用に定義したルールは、この機能をシステム レベルで無効にしても削除されません。

- カスケード通知を聞くユーザが設定。  
設定するには、指定したメールボックスから受信するカスケード通知を無効にするか、自分のプロファイルで通知機能を無効にします。
- ユーザごとに、最大 2 つの通知カスケードルールを設定できます。
- 同じユーザに対して 2 つの通知カスケードルールを設定する場合は、その 2 つのルールのターゲット ID と時間を別にする必要があります。
- プライベートメッセージおよびブロードキャストメッセージに対しては、通知のカスケードが行われません。
- 通知がターゲットユーザにカスケードされると、そのターゲットユーザのプロファイルでアクティブなすべてのデバイスが通知を受信します。
- 数字用ポケットベルの場合、この通知は通常の通知と同じです。  
カスケードされた通知と通常の通知は区別できません。
- 電子メールと文字対応デバイスの場合、カスケードされた通知の形式は通常の通知と同じですが、[Message For:] フィールドを使用することで、カスケードされた通知の電子メールを区別できます。  
通常の通知では、このフィールドにユーザ自身の内線番号または ID が入りますが、カスケードされた通知では、別の内線番号またはユーザ ID が入ります。
- 通知のカスケード動作は、ターゲットユーザのメッセージ通知プロファイルに基づいたものになります。  
たとえば、次のようになります。
  - ユーザ A は、すべての緊急メッセージをユーザ B にカスケードするよう設定されている。
  - ユーザ B は、すべてのメッセージに対して通知が設定されている。
 この場合、メッセージ通知のカスケードは、ユーザ A のメールボックスに受信した緊急メッセージだけでなく、すべてのメッセージに対して生成されます。
- Cisco VoiceView Express ではこの機能を使用できません。

## カスケードメッセージ通知の設定

### 前提条件

- Cisco Unity Express 3.0 以降のバージョン
- この機能はシステムレベルで有効にする必要があります。
- 指定した内線番号でこの機能の使用を制限する場合は、「[規制テーブルの設定](#)」(P.357) で説明する規制テーブルを設定する必要があります。

### この手順に必要なデータ

この手順には、通知のカスケード先となるユーザとグループの ID が必要です。

### 概略手順

1. `config t`
2. `voicemail notification cascading enable`
3. `voicemail msg-notification restriction-table table-name`
4. `end`

5. **[username | groupname] [user-id | group-id] notification cascade-to user-id after minutes**
6. (オプション) **show voicemail notification**
7. (オプション) **show voicemail notification owner owner-id profile**
8. (オプション) **show voicemail msg-notification restriction-table**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ1	<code>config t</code>  例: <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ2	<code>voicemail notification cascading enable</code>  例: <code>se-10-0-0-0(config)# voicemail notification cascading enable</code>	メッセージ通知のカスケード機能をシステム レベルで有効にします。
ステップ3	<code>voicemail msg-notification restriction-table table-name</code>  例: <code>se-10-0-0-0(config)# voicemail msg-notification restriction-table msg-notifc-r-table</code>	規制テーブルをメッセージ通知機能と関連付けます。
ステップ4	<code>end</code>  例: <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ5	<code>[username   groupname] [user-id   group-id] notification cascade-to user-id after minutes</code>  例: <code>se-10-0-0-0# [username   groupname] user2 notification cascade-to user4 after 10</code>	通知のカスケードのルールを定義します。このコマンドには、次の3つの入力があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 設定するカスケード元となるユーザ / グループの ID</li> <li>• カスケード先となるユーザの ID</li> <li>• 通知をカスケードするまでの時間</li> </ul>
ステップ6	<code>show voicemail notification</code>  例: <code>se-10-0-0-0# show voicemail notification</code>	(オプション) 通知のカスケード機能のステータスを表示します。
ステップ7	<code>show voicemail notification owner owner-id profile</code>  例: <code>se-10-0-0-0# show voicemail notification owner smith profile</code>	(オプション) 特定のユーザ / グループのメッセージ通知プロファイルの詳細を表示します。
ステップ8	<code>show voicemail msg-notification restriction-table</code>  例: <code>se-10-0-0-0# show voicemail msg-notification restriction-table</code>	(オプション) メッセージ通知機能と関連付けられた規制テーブルを表示します。

